



パワー浜松ロータリークラブ週報2014年7月29日号
本年度テーマ:Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう
～心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ(2014-15年度会長:小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松4307号室
Tel:053-452-0800 Email:info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立:2002年10月22日 認証伝達式:2003年4月29日 スポンサークラブ:浜松中RC



第543回例会 7月29日 AM7:30~8:30 オークラクトシティホテル浜松4F平安の間

- 司会:鈴木一広 奥山恵理子 ●点鐘:小林昭次 ●ロータリーソング:我等の生業
 - ゲスト:卓話者 災害支援団体「えにしのだ」幹事 松井 伸行様・米山記念奨学生 暢婉君さん
 - 議事:社会奉仕委員会、松井 伸行様 卓話「東日本大災害から3年、終わらない復興とこれからの支援活動」
- <出席報告>本日出席率64名 78.05% 前々回出席率96.59%

■会長挨拶

7月29日会長挨拶

おはようございます。
久しぶりのラジオ体操でいい汗をかきました。
今日は野球の話をする。
テレビのドラマにもなりました、池井戸潤の、ルーズヴェルトゲームで、ルーズヴェルトが記者に送った手紙で、野球の試合で一番面白いのは8対7のスコアという事で、8対7のゲームを、ルーズヴェルトゲームというそうです。先日石川県予選の決勝で、8回まで8対0で負けていたチームが、9回に9点を入れて逆転して勝ちました。松井や、サッカーの本田選手のが出ている星稜高校です。こういう試合をすると、その後どういいう人生を歩むのかと、非常に興味があります。20年後30年後球児がどういいう人生を歩むのか是非ウオッチして頂きたいと思います。
私の知り合いに甲子園を出ている人がいます。甲子園に出していないチームのレギュラーだったOBに限っては、ライトを守っていてエラーをしてさよならで負けた事が話題に出るから飲み会に行かない様にしている人もいます。我社の社員で、甲子園で優勝したチームの選手がいます。決勝戦で戦った相手方チームの中にはその後プロで活躍した選手がいるほどの強豪だそうです。その社員は、甲子園で優勝したチームのレギュラーだった事を話すと、お客様と一番最初にご挨拶した時に心をつかむ事が出来ます。と言っていました。今は管理者として成長しています。成功者かなと思います。
いずれにしても、甲子園を出た人たちを見てみると、それぞれ誇りやプライドが高く、良く頑張っていて、人生の成功者が多いと思います。
それぞれの選手たちのその後に関心を持って、ずっとウオッチしていきたいなと思います。

■幹事報告

・7月のView広場14名様から投稿ありました。投稿はメイキャップになると同時に、皆様のお考えをお聞かせ頂ける場でもあり、より良いクラブ活動実現の為、参考にさせていただきます。
8月のお題は「メイキャップについて」です。

■委員会報告

(社会奉仕委員会)募金活動委員会(村井睦彦)
・先週の富士山環境保全活動の支援金41,488円集まりました。
・今回は、本日の卓話に関する募金のお願いがあり、社会奉仕委員会の安間さんより趣旨説明があります。

■スマイル

社会奉仕委員会
松井伸行様、本日はお忙しい中、卓話を頂きましてありがとうございました。
安間孝明
本日は、私たちトータルケアセンターのパートナーである松井さんをお招きくださりありがとうございました。私たちは、被災地を無期限で支援していきます。今後も被災地を宜しくお願い致します。
小澤邦比呂
去る7月26日(土)に、浜北区東美蘭に社会福祉法人みどりの樹の新しい拠点施設が完成しました。この施設は、障がいのある子供たちの通う場であり、放課後等デイサービス事業・自立訓練事業等々を行います。当日はローランド芸術文化振興財団様のご好意で、デジタルピアノが寄贈され、二胡演奏家のシェンリンさん、ピアニストのヒロミさんに素敵な二胡とピアノコンサートを開催して戴きました。また、当クラブ青山会員からも子供たちに沢山のお菓子を寄付して戴きました。誠にありがとうございました。
熊谷真一
パワー浜松ロータリークラブからフランスに送りだして頂いていた娘綾乃が7月24日に無事帰国しました。皆様のご支援のおかげです。ありがとうございました。
8月19日の例会で、留学の報告がありますので、また宜しくお願い申し上げます。
鷲津有一
先日は、ハッピーバースデーでプレゼントを頂きありがとうございました。昨日55歳の誕生日を迎える事ができました。夕食は、入野にあるメゾンナカミチでフランス料理を妻にごちそうになりました。ここまでですと私が妻から大切にされていると思われるのですが、内情は、日曜日に自宅のエアコンが壊れ、妻が台所仕事を放棄した事が最大の理由です。
村井睦彦
先週の富士山環境保全活動の支援金41,488円集まりました。皆様のご協力のお陰で一人500円を達成する事ができました。ありがとうございました。

■ 議事

本日の卓話は、社会奉仕委員会の安間孝明さんから推薦がありました、災害被災地支援団体「えにしのにぎ」幹事、松井伸行様より「東日本大震災から3年 終わらない復興とこれからの支援活動」と題して講演頂きます。

平成23年3月11日 東日本大震災発生以来、3年5カ月経過し、静岡県でも話題になることが減っているのは仕方がないことでもあると思います。

平成23年5月初旬、縁あって浜松市社会福祉協議会さん主催の災害ボランティアバス先遣隊に乗車し、初の大船渡市入りし、その被災状況に衝撃を受け、一気に支援活動に傾倒し、岩手県沿岸南部気仙地区に特化した支援活動をしはじめました。活動当初は支援物資を積み自費で岩手へ、現地のfacebookでつながった方々(当初10人程度)と直接会い、つながりを深める過程で、「自分になにができるか?なにをしなければならぬか?考える旅」等を通して、現地で様々な災害支援活動を企画、コーディネイトをしてきました。諸活動の際、気仙地区での「学童クラブの被災状況」を目の当たりにし、本日はその支援に伴う募金及び今後の皆様のご協力をお願いに参りました。

「にこにこ浜っ子学童クラブ」大船渡市赤崎小学校内
「リトル学童クラブ」 陸前高田市

いずれも地震に伴う大津波により全壊、学童は全員無事でしたが同級生や親類が犠牲になった子供も多数おります。

被災の影響で学童の減少の反面、新たな雇用が生まれ現地では、再生を誓うご家庭では学童保育の必要性が増大しています。(「にこにこ浜っ子クラブ」指導員：久保田さん(元小学校教諭)による現地実情報告あり)

“学童保育を必要としている家庭の子供さんは、すべて受け入れる”観点から、受入れ数増加に伴う・「スペースの確保」「指導員の確保」「津波来襲時の対策マニュアル作成」本日当会場で募金頂いた浄財、及び講演謝礼は、被災した2つの学童クラブに50%ずつ寄付させて頂き、「指導員の待遇改善、施設の拡充、運営諸費」に充当させて頂きます。今後も皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願い致します。

